

一段と日が暮れるのが早くはり、朝晩も冷え込んでいます。木々の色も少しづつ赤や黄色に変わり、秋の訪れを感じます。秋の澄んだ空気をいっぱい吸って、戸外で遊ぶ心地良さを感じ、うがいや手洗いも励行して感染症や風邪に気を付け、11月も元気に過ごしていきたいと思います。

かせぐみ

運動会ごっこ

運動会Tシャツを作った時から着るの子どもたちは楽しみにしていました。運動会ごっこでは、斜めの竹の二本橋を渡ったり、缶ポックリに乗って、

段差を乗り越えたり、オオカミごっこを楽しみました。

竹の二本橋

好きな格好で、竹を渡って行くのですが、ほとんどの子どもが、立って渡ります。斜めに竹を渡ると、竹も丸いので、足を乗せて立つ時に、バランスをとり、落ちないようにと立ちます。右、左、右...とすり足で、ゆっくりに進みますが、あと少しで、渡り終える時には、早足になっていました。渡り終えると、ほっとした表情になり、笑顔でジャンプして着地していました。

缶ポックリ

6月からあそびの中で楽しんできました。缶の上には足を乗せて歩こうとしますが、足も引っぱらないうちに、缶が倒れてしまいます。足が離れてしまいます。「足を引っぱらな！」と声をかけると、力強く足も引っぱらなうに引きます。一歩、二歩と歩けるようになるまで、缶ポックリも楽しくなり、園庭に出ると「缶ポックリするぞ」と意欲的です。高さ10cmくらいの運動棒を置くと、きゅんと足も引っぱらなうに、缶ポックリで乗り越えていきます。歩いたり、走ったりすることには余裕が出てくると、「へちゃん見てやろ」とジャンプしてました。友だちと一緒に「走ろっか」と小走りしたり、自由に楽しんでいました。

オオカミごっこ

夕暮の小道〜と歌って散歩すると、近くには、オオカミさんの家があります。「オオカミさん」とお声かけすると、家の中から、オオカミさんが答えます。「今、起きてるよ」「ごはんを食べてるよ」「ドアを開けたよ」「みんなを捕えに行こうよ」と、オオカミさんに捕まらなうように、逃げます。はじめは、保育者が、オオカミになっていましたが、「オオカミやりたい」と子どもたちの声もあり、子どもたちもオオカミになります。一匹のオオカミであつたのが、二匹に増え、二人で「何をする?」「服装をどうにする?」「お部屋に入っているところにする?」「靴はどの靴にする?」「捕えに行こうか?」と何をしているところか相談して決めていました。

みんなで、おとつこと楽しんで、ちがうと、難しいことも、自分からやってみようとし、できた時は、とてうれしそうでした。それが自信に繋がります。「もう一回」と何度も楽しめます。友だちのがんばる姿に、子ども同士「がんばれー」と応援する姿もありました。運動会ごっこ後も缶ポックリやオオカミごっこを楽しんでいます。

園外保育

かせぐみにあつて、初めてお弁当を持って、出かけました。保育室のカレンダーに、お弁当の絵が、つけてあるので、もうすぐお弁当と楽しみにしています。当日は、お弁当、水筒の入った重いリュックを背負って、足取りは、軽い子どもたちです。公園では、遊具や砂場で、あそびたけで、しゃべりたり、ごっこあそびしたり、たくさんあそびます。待ちに待ったお弁当の時間になり、食べる準備をします。リュックからシートを出して、お弁当、水筒を出して、お弁当を開いて、お弁当を食べて...と、何もかも、初めてですが、一生懸命、用意します。お家の方に作ってもらったお弁当を友だちと一緒に、食べたことは、とても楽しい時間になったようです。園に帰ると「今度はいつお弁当?」と次のお弁当日を楽しみにしています。



そらぐみ

たのしかった!! 運動会ごっこ

今年度は、保前中での運動会ごっこは、屋上で三角馬のり、室内で戸板のぼりを入りこみました。自分たちで泳ぐにTシャツを着るとパワーが漲ってきてとても嬉しそうに子どもたちです。三角馬では屋上の端から端まで歩きます。途中でバランスが取れなくなると、つまずいて倒れて、お友だちを見せる子どももいます。足が地面についてしまってもまたそこから始めたり、壁に戻ってまた最初から始めます。友だちと一緒に手をつないで歩いたり、自分で端まで歩けたり笑顔になります。少しづつ態度を掴み、練習を重ねてからこを乗れるようになります。達成感を味わうに子どもたちの表情はキラキラと輝いています。

リレーでは、2つのチームに分かれてバトンをつないで走ったり、1列に並んで次の友だちにタッチして順番に走ったり、色とりろを楽しみました。次の友だちにバトンをつないで、順番に待つこと、折り返して走ることはなかなか全員がルールを守っていることは難しい場面もありました。目標地点に向かって全力で走ったり、頑張っている友だちを応援したりする姿もありました。最後まであきらめず、力を出して一生懸命頑張ること、友だちのことを思う気持ちも、これから日常の保育の中でも大切にしたいと思っています。

戸板のぼりでは、戸板の上に見えてあるワガタとカブトムシのイラストに向かってのぼり、タッチしてジャンプします。「えんじやあそび...」「のぼりはいいよ」「ジャンプはあそびこわいよ」と不安な表情の子どももいます。勢いよくのぼると上で恐怖心が勝ってしまい、「やほりこわい」と滑って降りる姿もありました。何度もすることで、手はどこに置くか、足はどうおぼり降りるのか、自分で考え、友だちから刺激もあって勇気を出してジャンプできるおぼりになっていきました。おぼり出来るようになる過程や目標は様々ですが、勇気を出し、やってみる、一歩踏み出してみる! その気持ちを持つこともとても大切なこと、自信へとつながっていくと思います。

五入れでは全員で1つのカゴに出来るだけ沢山の玉を入れよう! というルールで、保育者が上下に高さを覚えて持つカゴに向かって玉を投げ入れます。玉をいっつも持つ、沢山投げけり、カゴが高いところは力を溜めて低いところと同時に一斉に投げけり、いっつもカゴに入らうと色々と考えます。「おわり!」のかけ声で、玉を置いて座り、みんなでお祝いします。「このまよいはいせん!」「いっせんおめでとう!」と最高記録が出た時は、みんなでお祝いして、頑張ったからこの数だとおぼり嬉しそうに子どもたちです。

運動会ごっこを通して、身体を動かして遊ぶ楽しさや出来るようになるまで、努力することの大切さ、出来るようになる時の達成感、友だちと切磋琢磨し合うこと、勇気を出して力が発揮できることなどを子どもたちが感じていました。これから色んなことに意欲や興味を持ち、心身共に成長していきけるように保育していきたいと思っています。

薄着の習慣を

だんだんと寒くなってきまして、この時期から薄着の習慣をつけていくと、病気にも負けない身体になっていきます。子どもは、絶えず活動し、新陳代謝もさかんです。衣服は大人より、1枚少ないというのが目安です。保育室の中は、暖房で温度調節をし、子どもたちが半袖、半ズボンで活動できるようにしています。保育室に入る時は、半袖、半ズボンでお願ひします。体調のすぐれない時は、お声かけください。朝、晩の時は、上から長袖を重ねて着てください。衣装箱にも、半袖、半ズボンを入れておいてください。